

総合型・推薦型選抜 入試対策テキスト 【初級編】



伊藤 真衣子 著



CONTENTS 目次

3	はしがき
4	本書の位置づけ
5	第一章 自分を知ろう
13	第二章 大学を知ろう
23	第三章 可能性を広げよう
33	第四章 スタート地点に立とう
38	おわりに

PREFACE

はしがき

このテキストは、総合型選抜や自己推薦、公募制推薦の制度を使って大学入試にチャレンジしたいと思っている高校生に向けて作られたテキストです。

総合型選抜や推薦入試の対策は、準備を始める最初の段階が一番大切です。自分がこれまで考えてきたことや、力を注いできたことを自覚し、整理し、知識を増やしながら関心を広げ、大学で学びたいことにつなげていくという過程が、入試対策の土台になります。

「これまでそんなに熱心に頑張ってきたことなんてない」

「社会に対して特に問題意識を抱いたことなんてない」

「大学でやりたいことなんて今の段階では分からない」

そんな風に話していた生徒達が、入試に向けて自分から行動し、知識をつけ、面接試験で大学の先生方が驚くような発表を行って合格していく姿を、これまで沢山見てきました。

この初級編のテキストは、そうした成長を支えてきた1つ1つの取り組みを多くの方に経験してもらえるように作成したものです。このテキストが皆さんの合格の助けになることを願っています。

2021年2月
伊藤 真衣子

本書の位置づけ

「総合型選抜」や、「自己推薦」「公募制推薦」等の名前がついた各種推薦型選抜で大学受験をすることに興味を持ち始めた高校生や浪人生を主な対象とするテキストです。

また、初級編は指定校推薦を希望している高校生にも役に立てる内容になっています。

「何となく一般入試以外の方法で受験をしたいと思っているけど、何から始めて良いのか分からない。」という状態の高校生や浪人生が、スムーズに対策を開始できるようお手伝いすることが本書の目的です。

そのため、小論文の具体的な書き方や、提出書類の作成方法等は扱っていません。どちらかというと、そうした本格的な試験準備に入る前に取り組んでおく勉強がより進めやすくなるもの、いわば「土台」を強化するためのテキストです。

※すでに塾等で長期間対策をしてきて、実際に出願書類を書き始めている人や小論文試験等の実戦的な練習をしたい人は本書の主な対象ではありません。

ただ、そのような受験生の中でも、面接のための原稿を作ったり、提出書類に書く内容をもう一度見直す段階で、「改めて大学や自分自身のことを整理し直したい」という方は、期間を決めて本テキストのタスクに取り組んでみると準備を進めやすくなると思います。

講座の受講生の方は、授業でもこのテキストを使っていきます。授業が始まる前にざっと内容に目を通しておいってくださいね。